

初心者でもできる簡単クッキング

## 健康栄養クッキング教室～糖尿病編～

糖尿病は、放置すると網膜症・腎症・神経障害などの重大な合併症を引き起こすことが多く、脳卒中や心臓病のような重篤な病気の原因になることもあります。早期に生活の改善や治療を行うことで、悪化を防ぐことができます。一緒に糖尿病について学んで、生活習慣を見直してみませんか。

- 対象者 血糖値が気になっている人や予防したい人およびその家族
- 日時 12月21日(水) 午前10時～午後1時
- 会場 すこやか交流プラザ
- 内容 糖尿病を予防・改善する食事に関する講話および調理実習(ご飯・みそ汁・主菜・副菜)
- 定員 24人(申込多数の場合は抽選)
- 参加費 500円
- 申込方法 ◇電話◇窓口◇はがき(「健康栄養クッキング教室申し込み(糖尿病編)」・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入)
- 申込期限 12月8日(木)(必着)



### ●申し込みと問い合わせ先

健康課健康長寿担当 [〒816-0932 瓦田4-2-1 すこやか交流プラザ内]

☎(501)2222

あけてみよう!

## 歴史のとびら

158

調査担当者が語る!大野城発掘物語

### 古代の新興霊園「観音山古墳群」

今回は、少し足を延ばして、隣の那珂川市の遺跡を紹介します。

観音山は、大野城市月の浦に隣接する春日原ゴルフ場の那珂川市側にある山です。その西麓に総数500基を超える福岡県下でも最大規模の古墳群が造られています。

これまでの調査で、6世紀前半から平安時代ごろまで営まれた墓地と考えられ、石室の形や大きさが多種多様です。玉類や刀など副葬品が多い古墳と全く無い古墳の格差があること。副葬品は外来系の遺物(銅の腕輪や特殊な壺・椀など)や故人の生前の仕事を示すもの(鎌・鋤・金槌・鉄滓など)があることが分かっています。

特に注目されるのは、8世紀ごろ東北地方で造られた石室とよく似た石室が見られることで、東北から防人として九州に来たリーダーの墓とも考えられます。このようにさまざまな職業・階層・地域の人々が埋葬された観音山古墳群はどのような墓地だったのでしょうか。

6世紀後半以降は、いろいろな技術を

持った人々が筑紫地区一帯に移ってきて

開発が進められました。水城や大野城が造られた7世紀後半には、東北地方から兵士が送られています。地域外から移ってきた人々が新しく墓地を営んだ「新興の霊園」が観音山古墳群と言えるのかもしれない。平野を望める場所ではなく、人里から見えない山中に集中して造られたこともそのことを示しています。

牛頸から梶原峠を越えて、糸島方面に向かう古道が観音山古墳群の南辺を通っています。牛頸で須恵器を作った人々がこの道を通って新興霊園に墓を営んだことが考えられます。

古代には大野城市と観音山古墳群は密接な関連があったのです。



観音山古墳群



岩手県・江釣子古墳群

### ●問い合わせ先

心のふるさと館文化財担当

☎(558)2206